



池雪だより

1月号 大田区立池雪小学校
令和8年 1月 8日
校長 尾上 健二

<https://www.ota-school.ed.jp/chisetsu-es/>

こどもたちの飛躍を願って

校長 尾上 健二

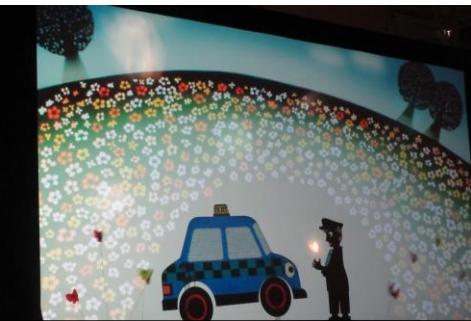
明けましておめでとうございます。皆様には新しい年をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も保護者、地域の皆様には本校の教育活動に変わらぬご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。新しい年を迎えるこどもたちは「今年こそは」と思い描いた夢や目標がそれぞれあることと思います。その夢や目標の実現に向けて、今何をすべきかをじっくり考え、できることから一歩一歩努力を続けてほしいと願っています。年の初めに、夢をもつ、なりたい自分を考える、そんな時間をぜひご家族で共有していただくことも大切です。

先月、2つの行事に向けて取り組んだこどもたちの姿を少しお伝えします。1つ目は12月に開催された小学生駅伝大会です。壮行会では6年生キャプテンが「今年は15位を目指します。」と目標を語りました。代表選手は、その目標に向けてチーム一丸となって練習を続けてきました。当日は全員が個々の目標に向かって努力した結果、チームの目標に大きく近づき、大きな達成感が得られました。2つ目はワールドタイムです。ワールドタイムでは東京科学大学から27名の各国の留学生を迎えて、各学級で交流活動を行いました。交流に向けて英語での挨拶、質問、日本の文化や歴史の紹介など学年に応じて活動の内容を考えました。留学生に楽しんでもらいたい、英語での交流を楽しみたい、そんな目標をもって準備に取り組み、当日を迎えました。振り返りには交流した楽しさと共に、充実感、達成感、そしてもっと英語を話せるようになりたいと次への目標が具体的に書かれています。目標をもったこどもたちは、意欲的に取り組む姿、確かな成長の足跡が見られました。目標をもち、計画的に取り組むことを実践できたこどもたちの成長は、私たちにとって大変嬉しいことです。

今年の干支は丙午。丙午は「情熱」「エネルギー」「行動力」を象徴し、特に新しいことを始めるのに適した年とされ、大いに飛躍が期待されます。こどもたちが新年に描いた夢や目標に向かって、さらに成長するよう、学校でも支援してまいります。

<担任交代のお知らせ>

6年4組担任の児玉教諭が出産休暇を取得いたします。3学期より4組を牧瀬未慧（みさと）教諭が担任いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。



観劇教室の様子（1・2・3年生）

日	曜	1月行事予定
1	木	元日
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	冬季休業日終
8	木	始業式、席書会
9	金	給食始、B時程
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	☆
14	水	児童集会、補習(6年)
15	木	★
16	金	体育朝会(高)
17	土	
18	日	
19	月	全校朝会、委員会、薬物乱用防止教室(6年) 校内書き初め展始
20	火	B時程 ☆
21	水	音楽集会(低)、保健集会(高)、補習(6年)
22	木	安全指導、避難訓練(Jアラート) ★
23	金	B時程、体育朝会(中)
24	土	学校公開日(体育健康地区公開講座)、B時程 校内書き初め展終
25	日	
26	月	振替休業日
27	火	☆
28	水	音楽集会(高)、保健集会(低)、補習(5年)
29	木	
30	金	B時程、体育朝会(低)
31	土	

1月の生活目標

正しいことばづかいをしよう

生活指導部 上原 文美

言葉には「力」があります。たった一つの言葉が相手を励ましたり、勇気づけたりすることもあれば、反対に傷つけてしまったり、不安な気持ちにさせてしまったりすることもあります。

1年生には「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」と伝えることがあります。「ありがとう」「たのしい」「すてき」「大丈夫だよ」など心が温まる言葉が「ふわふわ言葉」です。反対に、「うるさい」「バカ」「早くしろよ」「きもい」など心を傷つけてしまう言葉が「ちくちく言葉」です。不思議なもので「ちくちく言葉」を使い続けると使った人の心もちくちくしてきます。「ちくちく言葉」を一番近くで聞いているのはその言葉を発した自分自身だからです。

こどもたちも私たち大人も、普段どんな言葉遣いをしているでしょうか？言葉は私たちが思っている以上に、大きな影響力をもっています。相手を思いやる「ふわふわ言葉」が広まって、気持ちよく生活できると良いですね。

給食室より

栄養士 大脇 遥香

大田区の取組「おおたく学校給食大作戦」で、1月24日～2月6日の2週間を大田区学校給食週間と制定することになりました。大田区学校給食週間は、大田区の学校給食について、児童生徒や教職員、保護者、地域住民のみなさんの理解と関心を高め、学校給食の充実と発展を図ることを目的として定められました。この期間の給食では、大田区発祥の献立である「あげパン」や「たこぺったん」、大田区にゆかりのある海苔を使った献立等を提供する予定です。

～おおたく学校給食 キャッチフレーズ～
《お》大田区うまれの「あげパン」
《お》大森の「のり」
《た》「たこぺったん」食べよう
《く》食いしん坊 はねぴょん



ワールドタイムについて

特別活動部・外国語委員会 串崎 佳津代

12月3日（水）に東京科学大学の留学生を迎えて、「ワールドタイム」を実施しました。ねらいは、「外国人の人と積極的に交流しようとする意欲や態度を育てる」こと、「外国の文化を知ることを通して、日本の文化との違いやよさを感じる」ことです。

今年度も昨年度に引き続き、外国語委員会のこどもたちが活躍しました。仕事内容は、日本柄を描いたネームカード作り、各クラスに配布したランチョンマットに描く絵の準備、日本語と英語での始めの言葉、1・2年生の各教室での司会、移動などを知らせるアナウンス、留学生の送迎など、多岐にわたりました。全体的に見ても、留学生たちと笑顔いっぱいに触れ合っていたり、外国語を一生懸命話そうとしたりする児童の姿が見られました。このことから、ワールドタイムのねらいは十分に達成できたのではないかと思います。皆さん、ご協力有難うございました。

ワールドタイム感想

【3年】

- ・福笑いのペーツを渡すのを頑張りました。留学生の方がとても楽しんでいる姿を見て自分も嬉しくなりました。
- ・留学生の方とお手玉を数えました。英語で数えるのが難しかったですが、留学生の方に教えてもらいながら一緒に数えることができました。

- ・かるたの司会をやりました。かるたは日本語なので同じカードを探すという新しいルールを作りました。留学生の方に楽しんでもらえるよう工夫できてよかったです。
- ・日本の昔遊びとして、百人一首を紹介しました。本番では、お手つきをしないように気を付けました。来年に向けて、さらに外国語の勉強をしたいと思いました。

【4年】

- ・ワールドタイムを通して、日本とイギリスの違いを知ることができました。外国語の勉強を頑張って、外国人の人達とたくさんお話しできるようになりたいと思いました。
- ・最初は相手に伝わるか不安でしたが、留学生が一生懸命発表を聞いてくれたので、自信をもって発表することができました。日本も好きですが、フランスやドイツのよさにも気付けたので、いつか行ってみたいです。
- ・留学生の方と交流して、おすすめされたバリ島に行ってみたいと思いました。これから外国のことをもっと知りたいと思いました。違う国の外国人の方とも交流してみたいと思いました。
- ・緊張したけれど、スライドを用いて楽しく発表することができました。スウェーデンはオーロラがきれいと言っていたので、一度行ってみたいと思いました。

【5年】

- ・本番前にチュニジアの「クスクス」を食べてみたら、小さいパスタみたいでとてもおいしかったです。今度は紹介していただいた他の料理も食べてみようと思います。
- ・フランスの人もインドネシアの人とも交流ができたうれしかったです。英語での発表は難しかったけれど頑張りました。インドネシアの楽器の音がとてもきれいでした。
- ・ワールドタイムを通して、日本にない文化を知ることができました。もっといろいろな国の人と交流して、様々な文化を知りたいと思いました。
- ・クイズを留学生とみんなで一緒に楽しみました。給食の時にたくさん質問をして、留学生の方について知ることができます。来年はさらにいろんな国の人と関わりたいです。
- ・私たちがクイズを出した時に、留学生が「もう一度言つてください。」と言って理解しようとしてくれました。私も言葉が分からなくても少しでも理解しようと努力したいです。

【6年】

- ・外国人の人に対して積極的に話しかけたり、より楽しんでもらえるように努力したりすることができました。これからもしっかりと英語の勉強をしていきたいです。
- ・留学生の方々とお話しする中で、イギリス特有の食文化や学校生活について知ることができました。日本との違いを感じられ、イギリスのことをもっと知りたいと思いました。
- ・コマを回すコツを伝えると上手に回してもらうことができました。言葉が伝わらない相手でも、身振り手振りを工夫することで、伝えたいことを伝えることができると思いました。
- ・外国と日本との共通点を知りました。特にスウェーデンや台湾は日本で有名なアニメの舞台になっていると知り、行ってみたくなりました。
- ・ワールドタイムでは、その人の良さだけでなく、その国の良さを知ることができました。言葉がうまく伝わらなくて済むジェスチャーを使えば思いが伝わることもあると思いました。もちろん英語が話せることも大切なので、しっかり勉強也要ります。